

事例紹介

東京都昭島市立 **福島中学校**

夏休みの宿題に、家庭学習サービス！
～宿題が、学ぶ楽しさとの出会いに～

eライブラリの家庭学習サービスを夏休みの宿題に取り入れている福島中学校では、生徒がPC環境に左右されずに無理なく取り組み、さらには自主学習への意欲に繋げるための様々な工夫をしています。

夏休み 自主学習のきっかけ作りのための「宿題」

福島中学校では、家庭学習サービスを長期休業中の宿題と位置付けて案内しています。

宿題は、「夏休みに5回アクセス！」

夏休み直前になると、全生徒に「eライブラリ活用大作戦」というリーフレットが配られます。宿題の内容は、「夏休み中に5回以上アクセスして学習すること」。リーフレットの内側には、1学期に学習した各教科の教材の一覧が記載されており、生徒はその中から学習したい教材を選んで取り組みます。期間中は学習した教材や日付をリーフレットに書き込んでいき、夏休み明けに担任の先生に提出します。

運用の流れ

宿題の配布
(夏休み開始)

家庭での学習
・学習会

担任の先生に
提出

評価・返却

夏のeライブラリ活用大作戦 虎の巻

平成27年度

夏のeライブラリ活用大作戦

リーフレットの外側には宿題のルール、内側には対象範囲の教材一覧が記載されています。

学習した教材を塗りつぶそう！

学年	教科	単元名	教材数	アクセス
国語	漢字の読み方と書き方 文法の基本(文・文章・文節・単語)	0	1 2 3 4 5 6	
		12	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	
数学	正負の数 正負の数の加法と減法 正負の数の乗法と除法 正負の数の利用 文字を使った式 文字式の計算 アルファベット	8	1 2 3 4 5 6 7 8	
		21	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21	
		34	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34	
		2	1 2	
		10	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	
英語	アルファベット	12	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	
		2	1 2	
情報	加算(1)	14	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	
		14	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14	

情報担当 原善哉先生のお話



本来は自主学習のための家庭学習サービスですが、eライブラリを使った自主学習の楽しさを知るきっかけにしたいというねらいで、宿題として運用しています。宿題に位置付けることで取り組む生徒が確実に増えますし、そこでまずやってみることで、生徒も良さが分かると考えています。

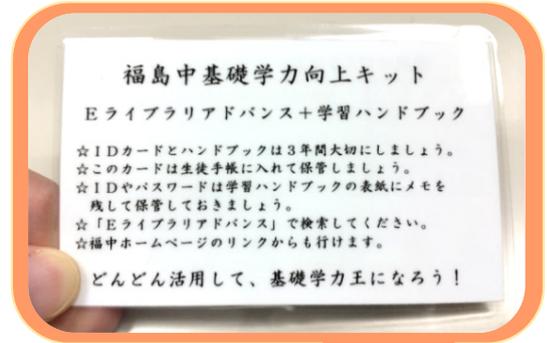
宿題としての運用はプロセスであり、そこから自主性を重視した家庭学習に繋げることが大切だと感じています。そのため、春・夏休みは宿題ですが、冬休みは宿題ではなくおすすめの課題と位置付けて、自主性を育てています。

福島中学校のスムーズな家庭学習運用の背景には、環境や意欲に配慮した3つの工夫があります。

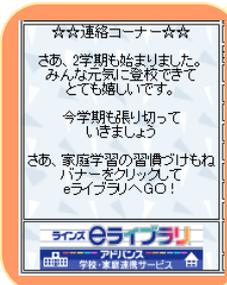
工夫1 使い方は授業で指導

1年生の1学期に、技術科の情報モラルの授業内で家庭学習サービスの使い方を体験するため、生徒が自宅で操作に困ることはありません。生徒は授業でIDやパスワードの重要性を学び、配布された家庭学習用IDカードを生徒手帳に挟んで大切に管理しています。

また、家庭学習サイトに手軽にアクセスできるよう、学校ホームページにサイトへのリンクを張っています。



▲IDカードの裏には「基礎学力王になろう！」と先生からの熱いメッセージが。



学校HPの連絡コーナーから活用を呼びかけています。

次のeライブラリ教室は
○8月21日 14:00からです。

工夫2 PCがなくても、学習会がある！

長期休業中には「eライブラリ学習会」がPC教室で定期的開催されるため、家庭にPC環境のない生徒もそこで宿題に取り組めるようになっています。

「自宅にPCがある生徒も、友達と勉強するのを楽しみによく参加していますよ」と原先生。8月最後の学習会の日も、友達と一緒に教材を選んだり、先生と夏休みの思い出を話したりしながら、皆伸び伸びと学習を楽しんでいました。



▲部活動の後に学習会に参加する生徒もいます。

工夫3 評価やアンケートで、脱・やいばなし

リーフレットの提出後には、「アクセス回数」と「取り組んだ教材内容」の2つの観点でそれぞれA～Cの3段階の評価が付けられます。両方でA評価になるとリーフレットの表紙に色鮮やかな花丸が付けられ、生徒の喜びもひとしおなのだそう。

また、後日生徒にアンケートを実施し、宿題への意欲や取り組めなかった理由を確認し、運用改善につなげています。



校長 大竹 宣行 先生のお話

本校では、基礎学力の向上を目指して、家庭学習の定着・充実に取り組んでいます。

家庭学習の実践には、手引書「学習ハンドブック」を作成し、生徒や保護者にわかりやすく学習方法を伝えられるよう工夫しています。その家庭学習の成果を生徒一人一人がフィードバックし確認できる方法として「eライブラリアドバンス 家庭学習サービス」を位置づけ実践しています。今年度4月から9月までの総アクセス数は約6700回。生徒1人当たり約25回のアクセスとなります。

学習内容自体はやはり紙と鉛筆、手と頭をフルに使って体得してほしいものです。しかし、素早い答え合わせ、丁寧な解説、学習の履歴が残るシステム、そしてなにより、何度でもやり直しができる「eライブラリ」には、生徒たちの学習意欲を向上させ、さらには基礎学力をより向上させる力があることと期待し推進しています。今後ますますの内容の充実を期待しています。

